



NIE 教育に
新聞を

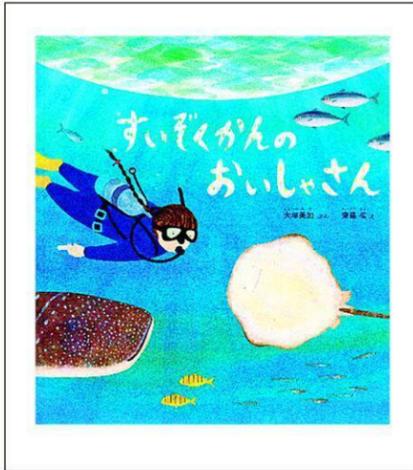
4

小学1・2年生向け

すいぞくかんのおいしゃさん

大塚美加ぶん 齋藤模え

まだお客さんのいない朝の水族館で、動物のお医者さんが「みんなげんきかなあ」とイルカやカメなどの生き物たちを見てまわっています。チェックするのは生き物たちの見た目だけではありません。世界一大きな魚、ジンベエザメがおなかをこわしていないかどうかは、うんちを取って顕微鏡で調べます。色やにおい、中身がいつもと同じかどうか、確かめるのです。具合が悪くなった生き物は、どのように治すのでしょうか。例えば、水槽の底でぐったりして餌を食べないマダラエイには、水中を潜って近づき、しっぽの毒針に刺されないように気を付けながら注射をします。水族館の生き物たちの病気やけがを治すお医者さんの仕事をすることができます。



(福音館書店 1100円)

小学3・4年生向け

黒部の谷の小さな山小屋

星野秀樹写真・文

小さな山小屋「阿曾原温泉小屋」が富山県の黒部の谷底に立つのは、毎年たった3カ月ほど。持ち主の泉さんは、仲間と協力して冬の前に山小屋を片付け、夏に建て直します。こうすれば小屋が雪につぶされずにすむからです。10月の紅葉シーズンになると、山小屋は登山客で毎日満員です。夕食のカレー作りに布団の片付けにと大忙しですが、「黒部を見て、『こりゃすごいとこだ』って感動するお客さんのてつだいをするのが、山小屋の仕事」と泉さんは話します。登山者が元気に安全に歩けるよう、登山道にある丸太でできた橋やはしごは泉さんたちが毎年作り直します。黒部の谷の大自然のもと、訪れる人々のために働く姿を描いた写真絵本です。



(アリス館 1760円)

図書館へ



珍しい職業を発見しよう

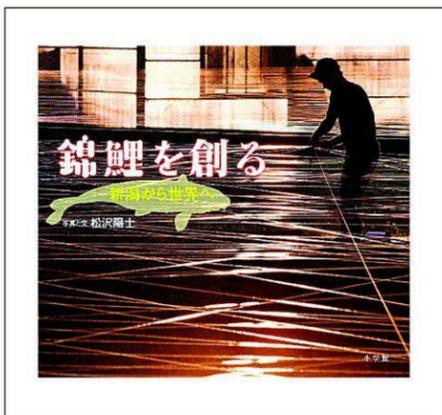
将来なりたい職業は何ですか？ スポーツ選手？ それとも、パティシエやYouTuber？ 今回は「こんな仕事もあるんだ」と発見できる珍しい職業について書かれた本を紹介しつづけます。(山梨県立図書館 後藤麻友) =毎月第2週に掲載します

小学5・6年生向け

錦鯉を創る 一新潟から世界へ

松沢陽士写真と文

江戸時代、新潟県中越地方の山間の集落では、黒い鯉を育て、大雪で身動きがとれない冬の食料にしていました。ごくまれに赤や白の模様の鯉が生まれると、大切に育て卵を産ませました。こうして「錦鯉」が誕生し、現在では観賞魚として世界中で愛されています。錦鯉を育てる仕事をしている和田卓さんは、これまで誰も見たことがない、新しい色や模様を持つ錦鯉創りに挑戦することにしました。新しい錦鯉を創るには、違う品種のメスとオスを親に選びます。和田さんが目指したのは、輝く大きな錦鯉。和田さんは、90%以上になる体の大きな品種と、輝く朱色の模様の品種を組み合わせることにしました。さて、どのような錦鯉が誕生したのでしょうか。



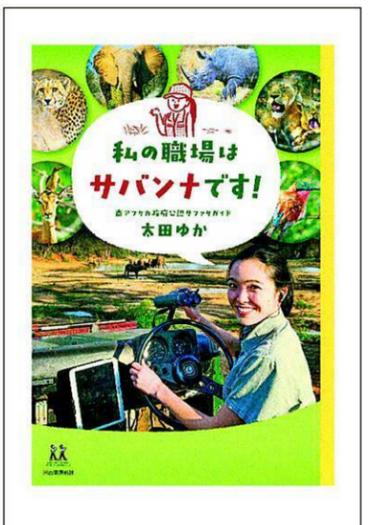
(小学館 1430円)

中学生向け

私の職場はサバンナです！

太田ゆか著

著者の太田さんは、幼い頃から動物が大好きで、動物に携わる仕事がしたいと考えていました。大学時代にボランティアでアフリカ大陸のサバンナを訪れ、サファリガイドの生活を間近で見て、「夢見ていた職業はまさにこれだ!」と感じます。現地のサファリガイド訓練学校に入学し、野生動物の見つけ方や安全な距離の取り方などを学びました。英語で行われる専門的な授業に苦戦しながらも無事に資格を取得し、今では南アフリカ政府公認サファリガイドとして活躍しています。キリンやライオンなどのサバンナの動物たちの魅力を紹介したり、美しい自然の偉大さを伝えたりする仕事のほか、野生動物の保護活動にも携わる太田さんからのメッセージです。



(河出書房新社 1562円)